

福利厚生事業「釣り」の実施

中国遊技機商業協同組合福利厚生委員会(井上貴博委員長)では、毎年福利厚生事業の1つである「船釣り」を本年度も参加地域を2箇所に分けて、広島県内出港は9月中旬から10月末まで、岡山県内出港は11月から12月初旬の間で計画を立てました。

本年度は、コロナ禍の影響により個々の活動が制限されており、船釣りといえどもコロナ感染拡大防止のため、事前の検温をはじめマスク着用や手指のアルコール消毒などを徹底し万全の体調で広島県内出港の船釣りは無事終了しました。

広島県内出港の船釣りでは、本年度は、従前と趣向を変えて「楽しみがたっぷりの五目釣り」と「本格釣り」に大人、子ども合わせて4日間で16社29名の皆様にそれぞれ参加頂きましたが、天候、特に台風シーズンと重なり風に左右され日程延期と魚種の変更を余儀なくされたなか、山口県並びに愛媛県沖合海上において、当初予定のウマヅラハギやハマチ等大量の釣果となり、参加した皆様は満喫した一時を過ごしました。

(写真参考)

なお、岡山県内出港は11月から12月にかけて2日間12名が太刀魚を求めて船釣りをを行う予定です。



↑写真(五目釣り)



写真(本格・五目釣り)↑



←写真 10月28日
瀬戸内海に浮かぶ世界遺産
日本三景の島「宮島」方向に泳ぐイノシシ